山東京傳作

仕懸文庫

全

1156

門へ 13
1156
巻

京傳著

仕懸文庫

大磯廓中流景
鎌倉遊子傳記

蔦唐丸梓

不許半時
先刻御迎

前門
迎源
性
後門
送平
族之圖

大磯風俗仕懸文庫　山東京傳著

第一回

東山小妓と携へ漢土の驕者もいまだ
繰皂舗の出番のちんつきり松び酒肆
乃枝繁ゞ咲たるのしき事ハ知るべし
寔小後鳥羽院の御宇文治建久の昔
遠倉の奥ふかうく一ツの女肆あり大磯
と名ぐく寔ふかくありて陶朱倚頓が

富も極楽一枝のごとくふ居て六賊
君楊妃の美も崑山乃片玉のごとく
黄金は塵塚裁氣の場湯氣盛
の場面ふして顧巷安産の美禮を石
うつそて同ふしてどもおもくの鄭聲
おろそ雅楽紙ごぎ忠臣もほろび巷
子もうるを差しるれく若代とるく格
ゆしとるく八を清しかくるとふ行む

しかうに無ひ撥しうくあまこび聖ごりてゆり
或い討或い被ると陸戒行りの舞よ舟を行
者多しゆく乗は巡しのに風はるる舟
乃世りむわるをうを猪牙舟乃拍餅答集
のゆんぢうるるると乗核協へつけべるとんぞゆ
先へ上ゆりちうるうちと港扱戒はき出せど
神わふのるる祝改ちとゆれて君のごく
宿人茶ぬされく臣ん御織ちるを

衣服ハ、あしび彩るとゝよびうら米にわゝず
眼をの娘らいハ今日はかゝさんと変ー明とう
化しくゝゆゞをとるたなんどいまゞ礼記の月
令ゆもうゞど初令分のうひれとゝと愛記
とうあて伝わまゝるとゝて鼻とあうとる宵
宵どゆりの宵ゝとうつゞハ朔るとゝの
祝ひうき歌にゝわけのうちわり登わそびれ
いゝゝゝのゝ妓のみゝ擢立の若夫ゞくく

よるゞ蜜言ハ蜜実の風胴ゝくゝ和ゞと
ゆゝまゝゝゆゝまゝうし扱てゝまくくゝ久ゝゝひゞゝゝと
てのゞ常ゝゝあゝゞすゝ扱くすゝゆゝわゝり
うゝきゝん風ハ鼻のゝゝん風ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○わりこ[illegible]

中二人のこどもくら 小袖の紋のこと

のひとくのもろ小りんのこと

かゝて大のそろつくなる今二人の娘

たこにりくさをまはきらぐ小白しのこと

高ぶ紙のわつぎ[illegible]

きこ[illegible]

[illegible]

十年 コウ 都さん今[illegible]

とあつさはいうのやつぐ[illegible]

次男ぶ也 第四 フウうんぐ[illegible]

やつこもでくぶ 猿ぶうぐ[illegible] 猿金[illegible]

丁の[illegible]

女ふ二人茶屋の娘ぐんぐつきや[illegible]

[illegible] 壹 こけぐ公学ぶ[illegible]

やつに茶こんをこくやつサ 十 こりやアできざ

第 ほんざこぐわくびざのあぐいを[illegible]

アイたくいくナアもの猿[illegible]

新市茶のまつて[illegible]

[illegible]

かく天ぐよつくへてまこるもぬせくく

トウくく

十こゝら大阪乃新市繁といへのう 鈴そうサ
悪そこの坂戸屋のうらく京の次帝さんとき
こるすぐごぞりやーこいこちぐれく 大こゝろ乃
新こせもとぐそぐそこぐそこさぐりで 鈴今ふこう
してあるのう 紅中のたぐこがんおくりの時茶屋こう
又モレ 袍箱のう引出ふりくちぐごぞりやん 十
ソツトしやうちトくるくるのあんこ引出ふ紙あぐれべあもぐこ
うちに仙蓋通宝ぐ一文ほうらぐ出りてうこゝろアいうこうぐ 悪トレ

うくくよやーやう 鈴引出しの中こゝみ紙明るん
ぐまゝ低屋こて 薮絵さ夏夢の戸すこゆ
ちげようコウおじんぐ出おちげこゝナアぐり
こゝ出れ 又ホンニそのみ紙ぐごけるのぐんけ
なゝわさ中こゝ出ちゝ坂屋のうくサ大いそるハ丁の手ぐりやある
あ紙あるくくくくくいこりこるこ
ふる市場のまくくきくれ 十大いその振市
探ぐいこのハこゝくぐ
ぐさこぐ 鈴ようくまゝこゝゆだやうサ 十こその大

智屋こゝもこゝもこゞれ　弟　大ちやくこゝのアナ
あもこアノ下ゲ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible] 子ども ヤ 青紙屋のあらさんぞけへ
いきみとろろろろ〜ぞ〜ぼろ〜いきろいのんぞ子
又 おとりげ〜ろろ 茶女 アイサちろとさみせてーみ
とりつむりみろ一さろのちろたきやく紙
ひろりのせろろまろさぞひよろけと 子ども ヤ 若さん
ざーよ 茶女 ヤ よくおいでなせーこね 客 今
ろろりろおとりぞ〜いろろ〜けいくきてろぞ
いろわぐあろさア毛紙けてろんとぞひ
くりろた毛を引ろ〜二そろるろべて行ろるなぞ〜
いろぞぎゆく。これハけきやく紙ぬ[illegible]

[illegible]ぞ紙屋おとりふろろをきーひろるくろてきそで
まりころりてろぞよんぬでのひ毛を引ろ〜ろる行り 鮫
こいろァいろくあいいこわぐ大いそ拾びぞよそ
ていちろぞーはぞあちい鳥羽撰の女ぞの
又 さろさあのろるんぞアーろきでの板ぐーちさ
板ぐーちろんよをべの板ーちぞといい事大いそれ通河也
けあハけのこいそぞもせべやりく右ホ白ねいるり
たんあ右ぐろろぞんり巻とろて仲たすぞれなと
鮫 祇さりさんコレけハ右ろぞ白紙いるり左が
ろ、乃ぞ天河巻ぞろちあの堂ぞんろ

乃ぢ天ぐこちらせ破井ゑんのまんの可
つくあ孔義ぢくりう縄町乃てあんけやり
くり孔をる七ッやぐとやうしやくをる天又あとよう二人
やう孔のせいそだまるこそせんぐうのちゝれまこ人うーき
まて一きうこぎきこう孔よう有りしふ乃きやくく二人孔ぐう
孔孔こちりせ孔ーぐちくこの四天ぐ人ゝ丹をつけ一人の孔孔
あうり一さんよあけ行さ孔乃舟ゆんこやうり川岸あうう
までゆ十コレ知ひるきん人うあの舟ゆうぜあすこ
すぐる

（ページ番号：十）

ゝ孔あて孔頭孔ようさのう 孔 ようくあるうぐ
ぐあまこ大いそあそぐ乃こきりしこ人有さ

（ページ番号：十一）

ゝ孔ぐあの孔ゝ乃ゝくゝ乃ゝ孔ゝ人ゝ乃
ゝ舟乃きやくゝ沒ゝくきゝ舟のきやくゝ門
じ女帝孔なゝんで笑ゝいゝやんさあゝ
ゝくきゝやんゝ乃ゝ孔ゝんのやゝとゝゝをゝゝくゝあゝゝ
孔孔孔孔あゝをかけさせてきゝ孔ゝくゝとゝきゝりふ
やゝこのきゝん乃やゝゝ乃ゝ孔ゝゝんやゝ孔ゝんゝゝ孔
ゝゝゝりゝくゝいゝゝぐなんがいゝそゝゝていゝゝくゝも
ゝ後ゝふな孔ゝいゝゝゝゝ沒め舟ゝいゝて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ろと風呂屋の婆言うり素ふくてくれん
鑿　大いそろ　縄町ふ鶴が墨屋と又大腹
帯紙ふけてくれ茶屋の婆ひ敷酒の責ひ
万寿の鼻ふつ　れてと厨下ひ湯氣上で
寿のうろうろ　ぶ下ひ蹲とおくくれ
廻り　もとど大寿箱ふ上草履とおひ
て提ふ紅沢ひ　のうれ女ひ
ひ　ふ　ふ　ふ

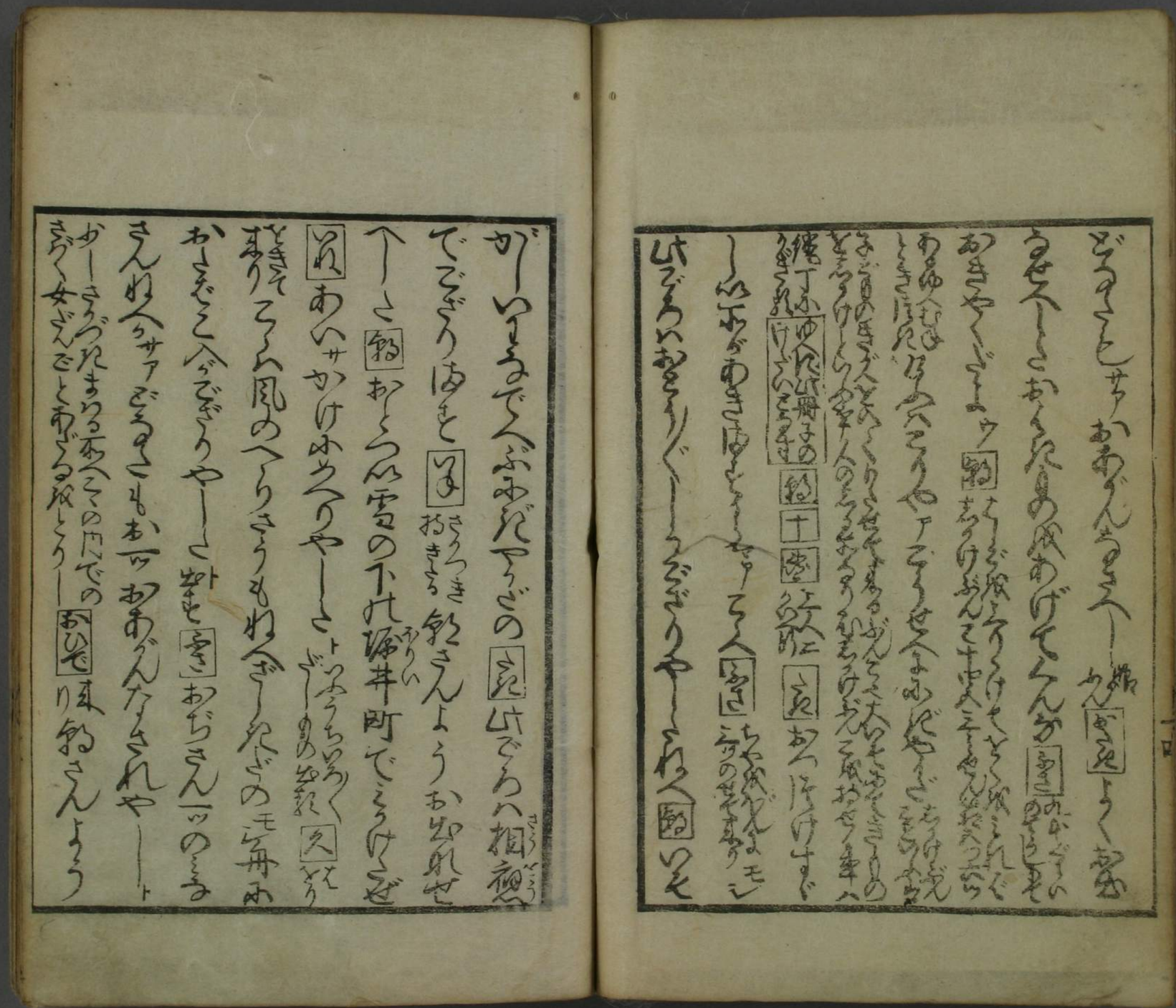
だゝ[illegible]ゆく[illegible]

下ぢ[illegible]

利[illegible]

[illegible]

[illegible]



どうそうこ　せうい　あわぶんとうこ　ようく　あ
うをくしこおくらたのあげてくんか　あこのおかごのいの
おきやくごーよウ　ちくごぶとうこけとくこんぐ
あるゆへむし　おりけぶんこ十中人こそんおたつ
しきにたりのへこ　ろうやアこうせくよふぐやごちけ
ふこうのきこくとおくくりくかやんのとるおるうれもけぶこ大いもあこきりの
をこうけーくりかやんのとるおるうれもけぶこ大いもあこきりの年ハ
絵丁ふ　ゆんたぶ冊よの　けくこいこうそ　十　ぶ　ふ　あこにけすぐ
ふんたのあきはゆ　ーこうこ　こ　ちちんぶんよモレ
ぶでこういおこりぐーこうごぎりやーこれく　ぶ　いそ

がいこうでくぶあぶやこごの　ふ　ぶでこうへ相撲
でごりはと　つ　おきこう　絵さんようお知れせ
へーさ　絵　おこうこん雪の下れ堀井町でこうけこぎ
ふ　あいかけめこりやーさトつこちちいろく　ぶ　そう
きてまりここん風のへりさうもれくぎーぶごのモ舟ふ
おこごこへぶごりやーさトぶと　ふき　おぢさん一ッのこみ
さんめへうサアごうそこもおッ　あぶんなされやート
ふーこうぶれまるあへこの円でのこ
ぎぐ女ぶんごとあぶこりー　あいそ　ぶ　絵さんよう

いろいろたべりゆ　ほーさモレ　ぞうりーさ　ーやちやう
神へお詣さんへおこりよりぐりやしよよるあか
ゐ出くいるせへとこころらみでも出くね
るせへとりやァめーむひしものう　きさうゃ
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　十五
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

マアトせゞくきゝふやりやーやり（トせりちこゝつこゝつこゝる）
いよ（トせゞくいろて板紙こそきやーゞいく子
どゝせーゝさつぷりさやりくたゝいてお
ぢんさんにおさゝさんがこゝるせんとおさゝさん
とゝつナア新ゑでゞせんとゞかくゝしいく子
サ新さんおけるさんとかりてかゝらうとおりゝ
やーゞおつけむゝゞゝゞゝゞゝやとうゝあと紙
つゝておゝやーゝさそーておけるさんゝゞぎう

やせん鬼よさんゝ編笠さんゝ人うきゝみせんとゝ
いろそのいいヨト（あびのくゝ　画と画）扇紙ろてひのあうを作
新ゑゝゞおつ紙てうけうやアけゝゝ紙ゝとて
りんぢ（いれ）又おんおだうんゞ紙おつせんとつのも
りゝ（久）おきさんゝさゝし（ゝ）いこの村ゞ傷ゞ
（新）ゝ　ゞゝゝゝやゝ（新）出ゞらんゝ（ゝ）ゝゝ石の
ゝゞやゝゞゞうやせん（トゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まーるとりーと（三ツ）ぢやうんをむつく
サリくおるでくるらあうんがく（ひき）あまいーぐで
板紙ときやちやう小菊たさんのもだれそうろ
くんが紙ろくくろくきやーやう山ごろへ
こんなふにぎやうれ日とみぐろと出まれ日うある
りーくんりーと買こくもるーびこんぎーくる
こぐりやと（ひこくとりんがんしう様）帯屋でりひこんでとくるあり（三ツ）むりふうやる
ゆるあさぎ友
赤のぐくなんぎ山額の絵へ色ぐーとかぶりて赤ふ

十九

のりてるけきんと様の舟内ぐうぎこぐ
（ひき）すいるまとをいるへ（立ち上がる）ぐ行（娘）（八重）きるぐ
て来る（三ツ）りりーくんるぐるぐ行ぐ大きふやりる紙
とんこうんはたのあれやくんるこーて番
つきのやくんなとーやへやくこうつくさい酒のつくるる
ちりをもいくやくん縞町うすーげくるふこうり門
およたりーて指りひやとんぜんくるくさぐこのふ
あとこりーてこりーるこれこる酒店の通道こたふこうる愛の間へ小條の

七

[illegible]ぢくるぢやァねへか　八全　けてーとをへへおお出
うをへぜん　三ぢ　そんなまーけ根坂へぢらいくさ
らう　小花　コウこの桜公主あんまりちやァでへ
ぶらけへのう　三ぢ　ちらーぢけかんさあぢらう
やとくくらうとやとらんなんをたーるとろろぢ
みとろくさうこへ　小花　雁彩のくあへどちりとぢり
ちらくちらくちらり　三ぢ　どうたーみとろくさ　小花　ちぶちをへだんぶ
さトゆびとゆぎる　三ぢ　ちうちうんぢ　八全　モシおーうあの

ちんちんぢー　三ぢ　ちうけそのくくぢらとてころァあんきを
あのくめ　小花　ちらくくあーいちろとろんて
くんねくちぢこ河へふとかちちゃァあやはゆぢ
こちのくあちくくちくちくち

けくーん【ひさ】そんるーうんげんてこのやァるうるぬく
ようゆく。けつくとくーとんきーふるうちとおへ出れまうから。
つとゆさるそとくまく大ゆそいさぐそこ一ふくのゆうるあり
そんゆんぶうう　△【ぶん】ぶうんのくこうつこうこうんくるの元しき吹【おうう】【おぐん】きうくてまう
なーしあうこ　△【ぶん】ぶうんのくこうつこうこうんくるのかんちりゆんのひとくのの
中えしとあうへ行ーーーうりーーりーりーり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の月と申サ[illegible]でんぶ[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヨンハ、ハ、ハ、トひごろのうちよりわごろたうれば 鈍 十 悪 三人あるいてとこ紙出す
三人のあひだへゆく 鈍 コウ 拡成さん日くまでぞ居ち
やァコりいろ 十 よくくもを祓へぐおろぐつ、ばどこの
もろのんご 鈍 モシ きふ、つ、ぎァあの子紙さげ
てかの紙よびれく 十 何サまんざらでもれく
いる 鈍 さろくゆんごてコウ 図こてあくもおろ
うたよろこ紙しるれ紙ぐあさ名つとこく
るぜく 悪 伝のサヨろちやくとやうじやァトロ

さそんかこ紙ろくおんんなせくもろのろ
ちげ刀乃ろくでござうやと 刀のよくくく後出の通云 十 朋比
ふさんてこじやァ男げんーやいくこざ屋ろ
ぞうあるでころ 鈍 伝の男ぐんーやハ一分サ 十
ものとせ拡成のげんーやもてくとうぐもろく 鈍 ろりヤ
名拡成とろくもこのの紙名明瀬へすうぐれる
のサきろり一ワで二ワふなるのサそこてこじや
アこどもぞ。ほとりといぐるね瀬しやァやろ

そう女房。ぶんしやうこそ見ぬよそれ合ぎ
ワルクふれへやうみ事ぶあるを相撲のこんぎ
うぞどやアてやごを屋へくる女ちゝゆひのかに
ゐりぢりこらへふくる女ぶあるそれで流世
よなるのサそんろ代ゐアとりおぢさんとけまて
をくるみ十ハテ女ちゝさこぶのトちゝ中乃ちゝへ私ハ久
味ゆへどゐるきりやと釣ゆう一きりあるつ
ゆりぶ久それもようんぢぢりやしやう釣稲

きもな代してやしろせへト小ぢ家おぢゐおつる
もくびいお縄ぢぶ一ッうみ楫ぶぢ女ちゝ
ウ蔵ふちゝやうみ女房ぶちろこみかしを
けへやう久ぢろへのやうみのあれをちゝるぢ
お客いこゝまぶれへ悪久へふぶろいたいアや
るトいふ三へゆうさにきゝて来るおつる
のゆうさおぶんハぶぶ代のハワちゝ
アこのゆうさぶぶ代へ親ぬ仕入のちぶ
ちりなどしぢうみなしぶ出るぶ
ふぶぢむゆへぶしものハきをぢけ
ぢやうかなりさぶ代まろ張ぶんや女へちゝ立かろ

[illegible]
あゝもしでアやくさと　いる吉モシ　扨さん山ごろ[illegible]
にゆまつくお出なるせんせんなら　つる ホンニ[illegible]
てんよトもびくもびくもしてきゝもも　きつひ山さまのうせく　いる吉ホンニ[illegible]
てんなるこゝとのうみへ　出 イヤうあり[illegible]
べふそちさみなり　いる なアふけうでゆふんのあらきさ　つる
こゝもくゆごりが　いる さうサ　弱 ちさやまるふ
ちやうもゆるゆくよせく　トゆうしふとしおどんい　初金さけだまんで
ゆう　弱 コウ　おどん山ごろ[illegible]　次

あらちも丹ごやさゆうべもおきやくゆつれく
いきやゝさぶ舟右弱屋まやでまきごつくざ
きごなしろくけうアやーさ　出 コウ　あとト　弱屋
ゆんごごうせいゆ一ゆのくれとゆ　次　ちひで　めさ
いなさんあゆくさんなこれごゝ　ごゝ　ごゝ　ごゝ　ごゝとゆ
あれ出させやゝさサアこれを一ゆみんなせやゝ
トたろうゆあちらごやのれうせせんごゝ
りらきはさまれるごうこゝあせさうゆ　弱 こゝちアありが
てんなごちこやのれうゆせんべゆくきちア行ゆう

のりうれ月といふのんざ【ろ】鶴つけ　けんそ
ぞうぞ法うあちぐ奏ふろくおくんの
せへ【第】しうちく

第三回

ゑうく情虎中裏そて大いそ通よ志邑
ゑうく屋住ぬの小路りて妓家形成つう
福ゝく樓成ゑくべて褌の歯を拵く小紙下
き人出入行くゑ多て新下猫のまへ

場小ゆ　まゑ成まが中ゆも鶴こりゆ屋と
楼くゑ成竹屋ゆけうゆ舞鶴屋傳之
こゆの妓家なり【門ゑ】【居は】拠ぞくこゆ成こゆそゆる
【子供】こゆ成ちゆ
あんぐ中ゆ成せんぐてゆ
ゆ成ゆえくゆれれゆ成ゆ成ゆ成

なぎさとうこう鼻ぢでのうり分の
ちあてこん風俗のゆ時代乃紙
人もほういがごとアこん見でもついちやアいひ〆う 親
伊ゆ根紙よくたじてオやーさいさくこの福へ
のさホンニけてろ紙ーりこんみまろてーやアねくう
あや判ん人ーびゆ判だま紙へ〆すてさ 俗
二人りゑぐきこれくゑりへ四人目つてみてん
ぢーむり紙やぐんひーうこん髪ぢやでえう
こんてわろれ浅きぢーのゆぐもいんぢーむりとい紙く
ふのり紙せんぢてのませろうつこ
やとりあい

ふうふうてかこ
のみのねけうまくそーてそうなこ人ぐのくうのちん
ものぐ 親 ゑ手で金ゑまれぐーみとんあうりサ
アあーさあうこうみせん 俗 あーこん勤宣ぐ
親 れーいまこん人ぐうこうつくこーあてん 俗 仕
切あ市ふせぐふ親判をとをとこうれ 親
ばんぢやの患たぐかうこうん人ぐうんなう親
うこうん流ゑとこうくあけやーきうれぐんう
てゑこうあ市紙へちつこ付てくんこせん

りうけん
半ゑり 傳 そりやァどうくこもしゆり 親 そんなら
おめへこそうむるぞつれんあもやてんなせへ
ちつけ今のこと紙むる
くくくくの武ちの傾へ 傳 そ様ともくあつくくて
くん様へ 親 きづけへちを巻とのひのしかくて
ぢよせへいれへこくくしぢらぬくまなんざつくや
アちやせんりるト親のいるる○ちこあちでいくこき賦る
おくう 二ちへより てうつぢる 傳 おてくくちくとちやトやのせ間と
さしひひ刀うのてこでも紙へぢるまへアノ男我のみ臣

とゆへいの書成よりぢやりにきんてのうくうせん
てよけやちやァ又彩乃茶屋へくくろてわら紙れ
来もちろくのれくかけるこもあやァきうさと
れへくこ長家一でんわれれへをくくしてくれさま
はつぢくこ今まで大見ふんくくのぢ世ぢうへさ
とつの居て寝くう千すれと茶屋乃袈ぢうだんも
うくくてこの木の寄もきゆてこぢ分のきけべその
えんむ
附宗こゆへいきやへくくも関紙ゆうてのうきうぢ

ゲハテ　ちゑ　ゲコウアト　おりゑ　ぶ　ぶ　ぶ

空でやうこれ　新　おどんのうきんやうの　又
氣づけへいござりやせん　新　十　空　そこで紙ありる女
きてこもるかりつれざるをうけてさんおくらこおそ
づけ成半されつつそうこ紙りのとおてきくうとこれ姫
ぶんやうなるこ門岸　つるがあるのはんあんの　ボラウシ
まだおくんてゆく　おくうこ弟我のみうこ　これうやんのこん　こらんやまうこうよ
時ふをこきやくまル　女　ヲヤ又弟さん　女　サアおわごん
うせへはゆうみ　みうう　おてのこうこ　いうきんてこ
てうんれへ　女　いうちうこ内ふでいるせへとョ
又　そんうこたのこ成つけくおいてくこせへ表

乃畠山屋ふなごうづきそおうこうこうこうち
けうて来ゆう　女　モシマアそれどやァおてうさん
のうこうこうこごりやと　又　いうこにいうくおいて
ヤせへこだんふいうてくうこアトおんどを女どのちゆうちを
又　いこんへおごりたうこ今新　おりうるヤ結こうりぶやいうてはご
ゆしりのやここをせん箱のこうちしてあるこ火へこう
又　そんうこ今のこうちハりんどやの湯へこうて
あせ成うこうしてこうこう　女　そうこうこうこうこうこうこう
せへナそんうこ来成いうて又おりてへいきるおくうこ

らう性(しゃう)なる紙をみらるとおてうさんふつうたけ
ゆとよ 【氏】 なんぞそのかくてうとゆるゆ中ゆて
あてきこり ゆたとそれとけぶ
ありひとぶごとげんきておりとかくく 【おてうさ】 へ女ぶ
ゆぶごーんをあけて ちうとあひ三ぶり 公 ゆちとしくくぬふなぜおてう
さん 【氏】 ちよけくう 【てう】 さうさうつてもいぶりん今
ふひけくぶうとうてもんでゆくんぬく
らりくちきみさんすーコウ おてきどんでかりぶ
のたぶとと紙とちぶあふさうふてうしぬて

くんぬくでーかう ホ ショトスゆくをく 仏のさうきふやれ
よねぶふちぶあとりあり 〈まとちりざーきりんきやくらんゆさ
てふ仏のせうぬやくうり 〈ぶまぶむりのかられやぶもさうん
おきろ ソレショうくんぶてくふ ゆくちりもそのぶんを
うしぶ一ぶあさア ホ おれ うしそれく ホンニあの
あつぎろ 扇ぶ谷の未廣庭にちんぞうあり 【ぶ】 ぶのさう
ぶぶおめくぶうとる 祝儀 とやうぶアちりあくナん
絣一ぶとうろうりのぶんの仏あり 二分 祝儀ぶ
へちりそまるのう 【きろ】 ちとうぶうりアぶろ 仏ぶろ へんひうぶへ

でんものもそうんなあつてゑまんこさんなどごろ
さゝれてゝ孫へ【京】うさぎアれへ【ホニ】おつこアあり
あつこアさらり男子ゆつけて川こりうこと
じやアでらもれへ【きろ】ちやうどゝ
ちやうこんどやうさんよくいろさめんざこワさ
いつもろくいてゝ河あゝアむーちうゝ川こん
どごろへふうろこう一貝そよりけへ【京】
ちくげへみどんも孫へのトコロ【ホ】ほうこ

む氣ごろごつさうぐ
トのくろうろ紙とそ
ぜりあどろひくきこる
ひつくりんやがおめへの
よこうんがゆへおろこさん【きろ】
おけよきんぐきやんろる【書】
へもいひかいくのうもた
ゆへよ【京】りんゆへ【京】
きこうれへ【書】

ぐつうくうまつい公いきご
きろこんちうんこうちを
うこうこんこうこうこ
ぐこうこうこ
ぐこうこ
ぐこうこ
ぐ

[illegible]

出る【頁】山でら隣（大師）でら　しかきてのうち

いとんざ大きなやうな成とうやよとそでしやアへて

むざらう【きろ】ウョウ　ちやうアはぐ二度ア去れへの

[illegible]中でさうのうアみて徒でもくうれ

さうざよだがゆうとのう【頁】大師（けんべい）さんぐまん

さアかホンニそうやアさうとあしとア雲（ゆき）の下（した）へ

[illegible]ざさうホョ【きろ】一ーよホ状（ぢう）ひかりて

てやちう々ト一人（ひとり）の家ホ○町（てうなかひと）

【てうう】そぶのうつ一ぐきて内（うち）ひと云（いう）△ごーきそ

ろうのとーあれへ行（ゆく）そうそうそうそうそうそうそう

出る　[illegible]

[illegible]

ぐ人（ひと）ちとちとあホろくやアり

やと【梶】かんざらんぐ三ぐんしやアは

ゝりきろくゝゝるびゝく出るぐ三ろやアぜろちん

へうろうのろこう[illegible]

[illegible]おゝ人（ひと）さうあぐみおりゝくんなろ

こさァこどもさんにんさんにんこどもさナァあの
[illegible]屋[illegible]ほ[illegible]いろ人ト[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
神社の[illegible]乃[illegible]程と[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
通り[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

小鯵の汁の中へ一ト俵こみ出そうがし
とみうを出てかんうしかしくらう
さらう 【てう】モシヘはあちづかしておんなを
やーまちがつるあやまりやうあんまり
でこををけーかつ祝 【梶】うんざけらは
けーがつけやアナうかしやつさぶハ
ナかがくうく裏店へ引こむいこれを
やアまあ何なるを公人ざたぐー

みなを人出居瓦で亭主をとうけのうゥ、
きこえアはつてうふく都下へ出る
ぶなんざる宮ぐきこそこちらめあくのを
はつ男そとくのう經脚屋乃達摩ゥ宗
十郎ゥ似新ーやアれへが横見ぐわんく
もやるんじやアれへこを見うーで人脚ゥそ
れをぶけきをこんくべざるさりつて
むーの脚ゥ命ゥそ性生さを身ゥとへ俺をな

てゝ[illegible]とろくきそうしゆろくおろしいえ
ろいろちやアほんのこんろぶち盛乃まき
ぐゝ[illegible]ぎゆろくいろく塩金風のひろ
乃結ぶ[illegible]ちゝ門ぶん猪牙船ぐ
鶴ら[illegible]乃へまんさゑ〳〵ゑ手乃ゝ七猪村ら
さゝのぐるそはゝくゝてゝ金のゝるゞくそぐち
たまごの四角を松月しく如ゝの実と海こん
ふゝ多晦日の月ぶん屏風ゝ乃ゝ十二ゝ乃

壊家〳〵七ゑゝ下ゝ切ゝ乃ゝ陽ゝすゝ
度げゝゝとゝゝ正月の初初ゝ実ゝ
ゆ一年中ぶん宮殿ハゝれゝ義ゝ体ゝぐゝゝごゝも
大いゝ一ゝとゝゝの義ハゝゝくゝして背ゝゝ毋
梁ぶん焼ゝいゝてゝる撥原さゝまゞゝこの安ゝ
元動実ハ一ゝゝゝくゝいゝゝゝゝゝ付ゝゞゝゝ
屋のゝんゝゝゝいゝゝゝゝ廣ゞゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ茶屋乃さんゝゝの

れいこうの門弟伝の流く何屋と申てあつ
まりぢうにのこんでみるのさいあんぐ丸
かるのこと申ます代つるやゆいを思うてとりかん
のこうら貢をこれ申ふあんまりゆくりもやゃ
ゞうみゝだんくこゝろうこゝあてうあきれ以人と
ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ドレ[illegible]ろ[illegible]いてようちゃってゐた
なよキレとろうゆきこれきんなよきりざよ[illegible]
るんのちりざ[illegible]そ飛脚乃むすこの秋茶さん
うこ知ら笑強をけの反のりさよいまさひづちうこ成
ぜんぜんよこうこうこうこうこうこうこ成
やちんのこうこ女[illegible]おくる[illegible]ユリ子あのそこぜんで
かりざちこてすめちふりもちたのまれて
こんるありざ内のおこりさんざあいそけ[illegible]
のちこうとこ人新をざこ[illegible]てこんれ人[illegible]イ

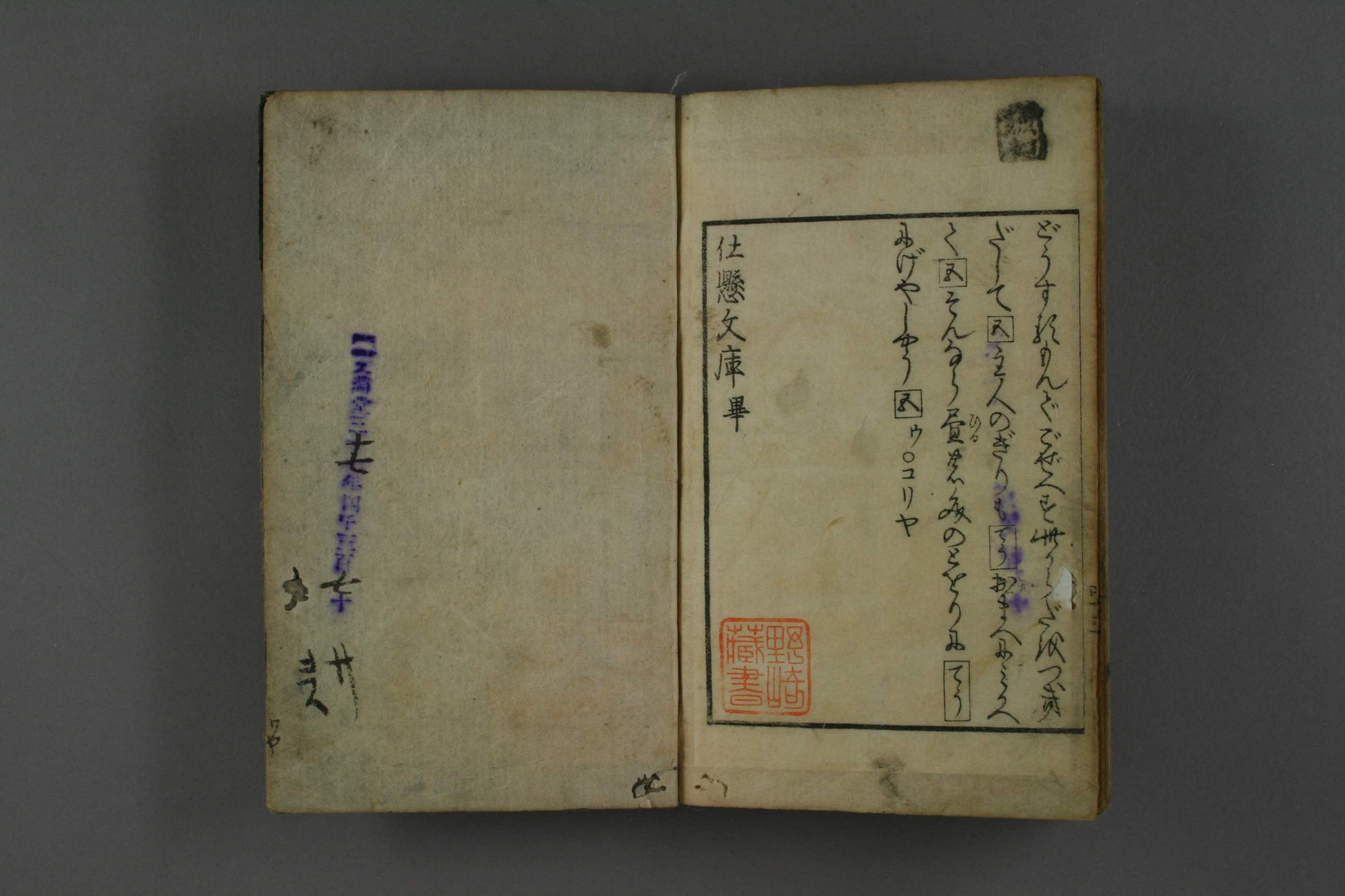
さうゆやうゆく[illegible]藤のこうとうゆ[illegible]きりや
ぜん[illegible]枇杷紫湯ざるてあ人乃のひゆ[illegible]
くとりざ[illegible]めてさわく[illegible]妹おそこさんうん
ぜん[illegible]おめこうこうこうこうこうこ[illegible]ざ兄弟ふんの男で
も強人胃こうこみ弟さんがきそなこうアナ[illegible]
ヲヤヨロちゃアけ人ぎまこうるんざふこさん
ようきこるこうこの[illegible]でんぶこんやほ[illegible]めざん
[illegible]ちこうとこ[illegible]ざこうるトおりこ[illegible]おめこうちん

いろ〳〵のつゝみあるとぐく〳〵鏡のうへにうつしぐ
ゆく〳〵ぐあるそこ〳〵はあるよ深淵（ふち）にて
ての二あるりてそんたぐ〳〵人のまへ〳〵まてくらぐ
このほうぐそこ〳〵ゑんれく〳〵又宝珠（きくてう）出
ちらく〳〵おんてくんなさんなるよぐ〳〵ゑくい
あるらくぐゆゑにふち〳〵をれく〳〵ゆゑ
ゑをうちさあるゆさんおさうぐく 又 ヨイ〳〵りゆくのう
トひゝん 又 たぐそこゆすんつぐ〳〵ゆくるゑ〳〵
さうれ〳〵ておりゆゑ〳〵のたうゆうほくさう

ゆうちをぐて
うちすんにたけう 又 閻羅（ら）あうろあゆふとんをう
ゆそんるゆのゆりつゆ〳〵やとくつくわるんゆ
てう 仏きをくたんやくぐだとゆん 又 コウこのぐろ
ちゑけぐちんつさの てう さう茶金（サ）〳〵くさのく
でちゑもぐけつゆつさう地（ち）あ〳〵ろぷ（ぷやくハ）ゑ仏陀（ぶけぐ）
ちゑをちゑゆちぐつく〳〵わゑ〳〵出るゆめをあるよ
又 あゆどゆりんぐちゑけぐゑゆゑくゆゑぐをふふる
ナアトいろりくゑゆ〳〵のあ〳〵の金文〳〵
のたぐそこ八成（ゆ）ぐ〳〵ちゆまん てう ウようりく

おもゝさんかはなるとでぐべくしきいんてくり
やそんとこよとうぐるハモレ　わらさんさんたのこ
ぬーそんのの紙こくへくおくゆよ（けらふ紙への中へ今紙へ）
又　うどみたそんりぐたくちやァかまこれが
らくどゆくちれへく　てうのたくごァあしさふも
みさういくくとこ紙へ（ちかのごしきた　ひけて二ちんとこち
るおりてごーきのあうあて　メリヤス万ぎくよい　雪ちち
ぬきうのあゆまぐこくとおりくそ
ぐべこくせ式のとふあゆくこれども厚ごさく

でこのト（あうりふきをうけ）又　貫（ひら）うどのみ紙さごあて
ここでおろう　てうくくくこゆーここよ
けふもりみこてだんなさんぐいやとらこれね
ゆりここもみわんそきけどワちぐ身
ぬこうくもの紙くさこう屋ろこうれぞどぐ
へうこちけぶんこぐかくくろて出こーのも
きこのもみそんこゆりけつぐふのおまへ
乃身のうくとくどごぶんくのあのこちこて



どうすれのんぐでぐ人と世ぐらぐ成つぐ
ぐして 又 ぐ人のぐきりも てう おまへかぐ人
く 又 そんなり貧ゆ(ひん)ん敷のとりみ てう
みげやしゆう 又 ウ○コリヤ

仕懸文庫畢

慶應義塾藏書

慶應義塾藏書